



平成24年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年9月9日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社トーシン

コード番号 9444 URL <http://www.toshin-group.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 石田 信文

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長

(氏名) 江本 健一

TEL 052-262-1122

四半期報告書提出予定日 平成23年9月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年4月期第1四半期の連結業績(平成23年5月1日～平成23年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|-------|------|-------|--------|---------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年4月期第1四半期 | 6,024 | 24.5 | 192 | 115.9 | 170 | 168.6 | 100 | 2,402.1 |
| 23年4月期第1四半期 | 4,840 | △2.6 | 88 | △64.1 | 63 | △70.6 | 4 | △95.9 |

(注) 包括利益 24年4月期第1四半期 97百万円 (867.2%) 23年4月期第1四半期 10百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年4月期第1四半期 | 159.26 | — |
| 23年4月期第1四半期 | 6.37 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | |
|-------------|--------|------|-------|------|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年4月期第1四半期 | 15,532 | 16.7 | 2,590 | 16.7 | | |
| 23年4月期 | 15,202 | 16.8 | 2,556 | 16.8 | | |

(参考) 自己資本 24年4月期第1四半期 2,590百万円 23年4月期 2,556百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年4月期 | — | 100.00 | — | 100.00 | 200.00 |
| 24年4月期 | — | | | | |
| 24年4月期(予想) | | 100.00 | — | 100.00 | 200.00 |

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年4月期の連結業績予想(平成23年5月1日～平成24年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|--------|------|------|------|------|------|-------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 9,882 | △1.1 | 357 | 49.1 | 296 | 70.0 | 165 | 161.8 | 260.78 |
| 通期 | 21,000 | 1.0 | 745 | 56.1 | 620 | 59.0 | 340 | 100.0 | 537.37 |

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------|-----------|--------|-----------|
| 24年4月期1Q | 638,874 株 | 23年4月期 | 638,874 株 |
|----------|-----------|--------|-----------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|----------|---------|--------|---------|
| 24年4月期1Q | 6,163 株 | 23年4月期 | 6,163 株 |
|----------|---------|--------|---------|

③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|-----------|----------|-----------|
| 24年4月期1Q | 632,711 株 | 23年4月期1Q | 632,711 株 |
|----------|-----------|----------|-----------|

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成しており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関連する事項につきましては、【添付資料】P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 2 |
| 2. サマリー情報（その他）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記 | 8 |
| (4) セグメント情報等 | 8 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月に発生した東日本大震災後、福島第一原子力発電所事故の影響により、電力供給不安等で全国的に節電及び自粛ムードが広がり、わが国の経済環境の先行き不透明感は強まり、個人消費についても依然厳しい状況が続くものと予想されております。

このような経済状況のもと、移動体通信関連事業における販売基盤の整備・店舗運営の効率化、不動産市況に左右されない安定的な事業の構築、リゾート事業の収益基盤の強化等に努めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高60億24百万円（前年同期比24.5%増）、営業利益1億92百万円（前年同期比115.9%増）、経常利益1億70百万円（前年同期比168.6%増）、四半期純利益1億円（前年同期比2,402.1%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（移動体通信関連事業）

携帯電話業界におきましては、携帯電話の加入件数が平成23年7月末現在で1億2,188万台に達し、そのうち第3世代携帯電話端末の台数は1億2,066万台となっており、全体の99.0%を占めております。当第1四半期連結累計期間の携帯電話の純増数は170万台と前年同期比9.2%増となりました（「電気通信事業者協会」より）。

このような環境の中、当社グループは、店舗近隣への営業活動による集客力の強化及び店舗移転の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は55億63百万円（前年同期比28.8%増）、セグメント利益は2億14百万円（前年同期比8.8%増）となりました。

（不動産事業）

依然不動産市況の停滞感等、厳しい経営環境は続いております。このような状況下にあつて、当社グループにおきましては、市場の変化を敏感に読み取りながら、安定的な収益を確保すべく、的確に対応をしております。

当第1四半期連結累計期間において、売上高は78百万円（前年同期比5.8%減）、セグメント利益は40百万円（前年同期比13.1%増）となりました。

（リゾート事業）

ゴルフ業界は、男子、女子プロ選手の世界レベルがメディアでも注目され、ゴルフ人気幅広く波及し、一層ゴルフが親しみやすいスポーツとなり、競技人口は着実に増加しております。

東日本大震災後のプレーに対する自粛ムードは和らいだものの、ゴルフコンペについては、依然開催自粛ムードが引き続いております。このような経営環境の中、ゴルフコースの品質維持・向上に努め、ゴルファーの快適なプレー環境を構築し、集客力の強化を図っております。

当第1四半期連結累計期間における売上高は3億72百万円（前年同期比15.4%減）、セグメント利益は25百万円（前年同期比60.6%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（財政状態の変動状況）

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、155億32百万円となり、前連結会計年度末と比べて3億30百万円の増加となりました。これは主に売掛金の増加によるものであります。

負債は、129億42百万円となり、前連結会計年度末と比べて2億96百万円の増加となりました。これは主に、短期借入金の増加によるものであります。

純資産は、25億90百万円となり、前連結会計年度末と比べて33百万円の増加となり、自己資本比率は16.7%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年4月期の通期業績予想につきまして、当初の計画（平成23年6月10日付の決算短信で公表）は変更しておりませんが、先行き不透明な経済環境や異常気象によるリゾート事業への影響等に起因し、今後変更が必要となった場合には、速やかに公表致します。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(有形固定資産の耐用年数の変更)

当社が保有する移動体通信事業店舗の建物等について、従来、耐用年数を5年として減価償却を行なっておりましたが、当第1四半期連結会計期間において見直しを行なった結果、従来採用しておりました耐用年数と実績に基づく使用可能予測期間との乖離が明らかになった為、耐用年数を8年に見直し、将来にわたり変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1,697千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年4月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成23年7月31日) |
|--------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,909,220 | 1,720,134 |
| 売掛金 | 2,369,250 | 2,667,691 |
| 商品及び製品 | 639,162 | 917,570 |
| 原材料及び貯蔵品 | 18,295 | 16,996 |
| その他 | 144,563 | 100,764 |
| 貸倒引当金 | △1,784 | △940 |
| 流動資産合計 | 5,078,707 | 5,422,215 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 3,274,806 | 3,294,235 |
| 減価償却累計額 | △1,056,576 | △1,088,698 |
| 建物及び構築物 (純額) | 2,218,230 | 2,205,537 |
| 土地 | 6,839,351 | 6,852,750 |
| その他 | 222,596 | 230,460 |
| 減価償却累計額 | △136,328 | △141,654 |
| その他 (純額) | 86,267 | 88,806 |
| 有形固定資産合計 | 9,143,849 | 9,147,093 |
| 無形固定資産 | 178,913 | 173,605 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資その他の資産 | 788,866 | 779,083 |
| 貸倒引当金 | △214 | △121 |
| 投資その他の資産合計 | 788,651 | 778,961 |
| 固定資産合計 | 10,111,414 | 10,099,661 |
| 繰延資産 | 12,057 | 10,692 |
| 資産合計 | 15,202,179 | 15,532,570 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年4月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成23年7月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 2,216,642 | 2,483,276 |
| 短期借入金 | 2,520,000 | 2,820,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 942,324 | 931,926 |
| 1年内償還予定の社債 | 44,000 | 44,000 |
| 未払法人税等 | 87,361 | 58,272 |
| 賞与引当金 | 46,772 | 25,855 |
| その他 | 664,959 | 681,679 |
| 流動負債合計 | 6,522,060 | 7,045,010 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 700,000 | 700,000 |
| 長期借入金 | 5,129,270 | 4,905,648 |
| 退職給付引当金 | 9,730 | 10,039 |
| 資産除去債務 | 40,787 | 41,285 |
| その他 | 243,622 | 240,020 |
| 固定負債合計 | 6,123,410 | 5,896,993 |
| 負債合計 | 12,645,470 | 12,942,003 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 693,858 | 693,858 |
| 資本剰余金 | 832,376 | 832,376 |
| 利益剰余金 | 1,031,207 | 1,068,700 |
| 自己株式 | △43,998 | △43,998 |
| 株主資本合計 | 2,513,443 | 2,550,936 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 43,264 | 39,629 |
| その他の包括利益累計額合計 | 43,264 | 39,629 |
| 純資産合計 | 2,556,708 | 2,590,566 |
| 負債純資産合計 | 15,202,179 | 15,532,570 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年5月1日 至 平成22年7月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年5月1日 至 平成23年7月31日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 4,840,107 | 6,024,134 |
| 売上原価 | 3,870,136 | 5,074,493 |
| 売上総利益 | 969,970 | 949,641 |
| 販売費及び一般管理費 | 880,974 | 757,506 |
| 営業利益 | 88,996 | 192,134 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 498 | 673 |
| 広告支援金収入 | 6,821 | — |
| 店舗開設支援金 | 6,546 | 5,662 |
| 貸倒引当金戻入額 | — | 937 |
| その他 | 13,029 | 16,409 |
| 営業外収益合計 | 26,895 | 23,682 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 43,951 | 40,292 |
| その他 | 8,449 | 4,962 |
| 営業外費用合計 | 52,400 | 45,255 |
| 経常利益 | 63,490 | 170,560 |
| 特別利益 | | |
| 貸倒引当金戻入額 | 1,292 | — |
| 賞与引当金戻入額 | 16,809 | — |
| 特別利益合計 | 18,102 | — |
| 特別損失 | | |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 35,981 | — |
| 特別損失合計 | 35,981 | — |
| 税金等調整前四半期純利益 | 45,611 | 170,560 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 27,594 | 50,931 |
| 法人税等調整額 | 13,989 | 18,865 |
| 法人税等合計 | 41,584 | 69,797 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 4,027 | 100,763 |
| 四半期純利益 | 4,027 | 100,763 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年5月1日 至 平成22年7月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年5月1日 至 平成23年7月31日) |
|-----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 4,027 | 100,763 |
| その他の包括利益 | | |
| 其他有価証券評価差額金 | 6,014 | △3,634 |
| その他の包括利益合計 | 6,014 | △3,634 |
| 四半期包括利益 | 10,041 | 97,128 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 10,041 | 97,128 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

[セグメント情報]

I. 前第1四半期連結累計期間(自平成22年5月1日 至 平成22年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) | 合計 |
|-----------------------|-------------------|-----------|------------|-----------|------------|-----------|
| | 移動体 通信関連 事業 | 不動産 事業 | リゾート 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 4,318,071 | 82,264 | 433,138 | 4,833,474 | 6,633 | 4,840,107 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | 900 | 7,682 | 8,582 | — | 8,582 |
| 計 | 4,318,071 | 83,164 | 440,821 | 4,842,057 | 6,633 | 4,848,690 |
| セグメント利益 | 197,437 | 35,780 | 65,653 | 298,872 | 708 | 299,581 |

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オリジナルグッズ用品の
販売、飲料水の販売、飲食店の運営等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|----------|
| 報告セグメント計 | 298,872 |
| 「その他」の区分の利益 | 708 |
| セグメント間取引消去 | △8,582 |
| 全社費用(注) | △227,507 |
| 四半期連結損益計算書の経常利益 | 63,490 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費、営業外収益及び営業外費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ. 当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年5月1日 至 平成23年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注)1 | 合計 |
|-----------------------|-------------------|-----------|------------|-----------|-------------|-----------|
| | 移動体 通信関連 事業 | 不動産 事業 | リゾート 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 5,563,384 | 78,359 | 372,984 | 6,014,728 | 9,406 | 6,024,134 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 5,563,384 | 78,359 | 372,984 | 6,014,728 | 9,406 | 6,024,134 |
| セグメント利益 | 214,843 | 40,481 | 25,877 | 281,202 | 4,754 | 285,957 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オリジナルグッズ用品の販売、飲料水の販売等を含んでおります。

2. 会計方針の変更等に記載のとおり、移動体通信事業店舗の建物等について、耐用年数の変更をしております。

これにより、従来の方針に比べて、当第1四半期連結累計期間の移動体通信関連事業におけるセグメント利益は1,697千円増加しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|----------|
| 報告セグメント計 | 281,202 |
| 「その他」の区分の利益 | 4,754 |
| セグメント間取引消去 | — |
| 全社費用 (注) | △115,396 |
| 四半期連結損益計算書の経常利益 | 170,560 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費、営業外収益及び営業外費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。